

第 136 回東邦医学会例会プログラム

平成 22 年 6 月 17 日(木) 午後 1 時 ~ 7 時 30 分

平成 22 年 6 月 18 日(金) 午後 1 時 ~ 5 時 07 分

東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1)

6 月 17 日(木)

開会の辞 _____ 内科学講座(大森)膠原病科 教授 川合眞一

A. 大学院学生研究発表

(発表:各 10 分, 討論:各 5 分)

座長:盛田俊介教授(大森臨床検査医学)1~5 席 (1:00-2:15)

1. 2 型糖尿病合併メタボリックシンドロームにおける small,dense LDL と hs-CRP の検討
中野三郎(内科系), 指導教授:芳野 原教授(大森糖・代・内)
2. 脳梗塞再発患者の臨床放射線学的研究:初発脳梗塞患者との対比
平山剛久(内科系), 指導教授:岩崎泰雄教授(大森神経内科)
3. 脳卒中患者における推骨脳底動脈伸展拡張症の臨床放射線学的特徴
仲村敬和(内科系), 指導教授:岩崎泰雄教授(大森神経内科)
4. 膠原病疾患におけるレジスチンの炎症病態への関与とステロイド療法の影響
田中菜穂子(内科系), 指導教授:川合眞一教授(大森膠原病)
5. ステロイド療法による血清骨代謝マーカーの変動
金子開知(内科系), 指導教授:川合眞一教授(大森膠原病)

座長:渋谷和俊教授(大森病院病理学)6~11 席 (2:15-3:45)

6. Cyclosporine suppresses lung fibroblasts to myofibroblasts differentiation ; A supportive evidence for its treatment of pulmonary fibrosis
廣田 直(内科系), 指導教授:本間 栄教授(大森呼吸器内科)
7. 閉塞性細気管支炎における病理学的再構築および免疫組織学的検討
杉野圭史(内科系), 指導教授:本間 栄教授(大森呼吸器内科)
8. マウス急性緑膿菌気道感染モデルにおけるカンジダ同時感染の役割
藤田和恵(機能系), 指導教授:山口恵三教授(微生物・感染症学)
9. X-ray fluorescence computed tomography system utilizing a cadmium telluride detector
萩原令彦(外科系), 指導教授:長尾二郎教授(第 3 外科)
10. 70%肝切除ラットにおける術後早期の ^{13}C -呼吸試験法の検討
三浦康之(外科系), 指導教授:金子弘真教授(一般・消化器外科)
11. 肝細胞癌検出におけるダイナミック造影 CT および Gd-EOB-DTPA 造影 MRI の比較検討
笠井ルミ子(内科系), 指導教授:寺田一志教授(佐倉放射線)

座長:長谷川友紀教授(医療政策・経営科学)12~16 席 (3:45-5:00)

12. ポピュレーションアプローチとしての職域における 35 歳時の集団健康教育の効果
西埜植規秀(社会医学系), 指導教授:杉田 稔教授(衛生学)
13. 手指変形性関節症の罹患関節の分布と危険因子に関する疫学調査
根本高幸(社会医学系), 指導教授:杉田 稔教授(衛生学)
14. 喫煙習慣と歯科医療費に関する研究
山崎 明(社会医学系), 指導教授:杉田 稔教授(衛生学)

15. 中規模総合病院における人工膝関節置換術患者の臨床疫学的検討
神谷耕次郎(社会医学系), 指導教授: 杉田 稔教授(衛生学)
16. 日本の急性期病院での医療安全文化の検討
瀬戸加奈子(社会医学系), 指導教授: 長谷川友紀教授(医療政策・経営科学)
座長: 瓜田純久教授(総合診療・救急医学) 17 ~ 21 席(5:00-6:15)
17. 双胎間輸血症候群(TTTS)症例の胎児鏡下吻合血管レーザー凝固術(FLP)前後の母体血中 HCG の推移に関して
花岡正智(外科系), 指導教授: 森田峰人教授(大森産科婦人科)
18. 単焦点および多焦点眼内レンズの光学性能
有村 哲(外科系), 指導教授: 朽久保哲男教授(第1眼科)
19. 近視眼における高度コンピュータ使用と視野異常との関連性についての検討
荒武美保(社会医学系), 指導教授: 杉田 稔教授(衛生学)
20. インドキシル硫酸は酸化ストレスを介して MCP-1 の発現を亢進させる
正井なつ実(内科系), 指導教授: 芳野 原教授(大森糖・代・内)
21. 培養腎メサングウム細胞への酸化ストレスに対するプロボコールの保護作用とその機序
番 典子(内科系), 指導教授: 白井厚治教授(佐倉内科)
座長: 小山信彌教授(大森心臓血管外科) 22 ~ 26 席(6:15-7:30)
22. 肥満ラットにおける食塩感受性高血圧発症の機序
岩佐義明(内科系), 指導教授: 杉本元信教授(総合診療・救急医学)
23. 低体温循環停止が血小板数に与える影響についての研究
高山 渉(外科系), 指導教授: 落合亮一教授(第1麻酔科)
24. 低体温循環停止法を用いた弓部大動脈置換術後の急性腎傷害
森 庸介(外科系), 指導教授: 落合亮一教授(第1麻酔科)
25. 静脈駆血下に行うブプレニルフィンの前投与がプロボコール投与による血管痛を防ぐ効果
板倉美千代(外科系), 指導教授: 落合亮一教授(第1麻酔科)
26. 虚血再灌流障害に対するカルペリチド有効性の検討
河村優子(外科系), 指導教授: 落合亮一教授(第1麻酔科)

6月18日(金)

当番教室：衛生学 / 整形外科学第1講座

B. 一般講演

(発表:各7分,討論:各2分)

座長:山崎純一教授(大森循環器内科)1~2席(1:00-1:18)

1. 心外膜脂肪組織量と冠動脈狭窄および石灰化の関係について(7分)
○鈴木理代,粕谷修輔,美甘周史,野池博文(佐倉内科),
長谷部光泉(佐倉放射),諸井雅男(大橋循内)
2. 「みんなの医学」と「患者さん向けパンフレットデータベース~乳がん編~」の制作(7分)
日紫喜光良(理学部情報科学)

座長:周郷延雄教授(第1脳神経外科)3席(1:18-1:27)

3. くも膜嚢胞を伴ったくも膜下出血の1例(7分)
原田雅史,福島大輔,榊田博之,植草啓之,北島 悟,野本 淳,
近藤康介,原田直幸,根本匡章,周郷延雄(1脳)

C. 平成21年度プロジェクト研究報告

(発表:各8分,討論:各2分)

座長:周郷延雄教授(第1脳神経外科)4~5席(1:27-1:47)

4. オレキシンの報酬行動に対する効果(8分)
船戸弘正,横藤田純子(微細形態)
5. くも膜下出血における髄液中フリーラジカル測定の有用性(8分)
齋藤紀彦(2脳),赤畑正樹(大学院生)

座長:山口恵三教授(微生物・感染症学)6~9席(1:47-2:27)

6. 検査室で利用可能なOXA-型カルバペネマーゼ検出法の確立(8分)
石井良和(微生・感染),岩田守弘(大森臨検),鈴木九里(大森泌尿)
7. 肺炎球菌性肺炎の重症化に関わる新規疾患感受性遺伝子の探索(8分)
木村聡一郎(微生・感染),田邊雅章(佐倉内科)
8. キノロン耐性化遺伝子 *qnrB* と細菌ストレス応答に関する研究(8分)
嵯峨知生(微生・感染),石井利明(大森臨検)
9. MDRP に対する院内感染防止対策
~ 水平伝播の予防,発生病序の解明と有効な治療法に関する検討 ~
吉澤定子(感染管理部),青池 望(大学院生)

座長:瓜田純久教授(総合診療・救急医学)10~12席(2:27-2:57)

10. 薬剤耐性 *Nocardia* 属菌に対する新規治療薬に関する研究(8分)
宮崎泰斗(総診),岩田基秀(大森呼内)
11. 市中感染型 MRSA (CA-MRSA) の疫学・病原性に関する研究(8分)
前田 正(総診),新井典岳(大森消内)
12. 深在性真菌症発症に関するデクチン1 蛋白の機能解析(8分)
大久保陽一郎(大森病院病理),下平佳代子(1小児)

座長:金子弘真教授(一般・消化器外科)13席(2:57-3:07)

13. ラット70%肝切除モデルにおける¹³C-呼気試験法の検討(8分)
三浦康之(一般・消外),高地良介(総診)

D. 特別講演

座長:金子弘真教授 (一般・消化器外科) 14 席(3:07-3:37)

14. 消化器疾患診療における質的画像診断法の応用(30分)

佐倉病院外科学講座 教授 岡住慎一

座長:森田峰人教授 (大森産科婦人科) 15 席(3:37-4:07)

15. 子宮頸癌の発癌機構とヒトパピローマウイルス(30分)

大橋産科婦人科学講座 教授 久布白兼行

教育講演 (4:07-5:07)

企画・担当:衛生学 / 整形外科学第 1 講座

座長:土谷一晃准教授(整形外科学第 1 講座)

『抗菌薬適正使用の基本的考え方』(60分) 感染管理部 吉澤定子

閉会の辞 _____ 衛生学 教授 杉田 稔

- 1) 大学院学生研究発表, 一般講演, プロジェクト研究報告の演者の先生は, 必ず例会・総会当日までに「雑誌掲載用講演抄録」(400 字程度)と「*Keywords」(英語 3 語以内)を出力紙とデータ(FD・CD・USB 等)を受付にご提出になるか, e-mail にてデータ添付でお送りください(E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
- 2) 企画ご講演の先生は, 例会当日より4週間以内に3200字程度に総説形式の講演要旨として提出してください。
- 3) 特別講演の先生は, 例会当日より4週間以内に4000字程度にご講演内容をまとめて提出してください。

1~3とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。2,3につきましては, 詳細を受付におたずねください。